


地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↓ 取り組んでいきたい項目

事業所名：グループホーム回生荘

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

事業所名：グループホーム回生荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・現在地域高齢者等の暮らしに役立つことに具体的に取組みはありませんが、理念の中に「地域福祉向上の拠点としての責務」があるので、今後、取り組まなければならない課題です。	○	・先ず、ミーティングで地域高齢者の暮らしに役立つことができるか話し合う。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・外部評価等での課題について、ミーティングは勿論、管理者会議等で協議して、取組み改善しています。		
8	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議では、現在の運営状況や外部評価の結果の報告等をして、委員の意見や要望等を汲み取りサービス向上に活かしています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・市町村の担当者とは、運営推進会議以外でも随時必要に応じて連携を取り行き来して、報告をしたり指導を受けています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・成年後見制度等について、内部のケアマネ等や市町村の担当者に随時相談して、必要に応じて活用しています。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・外部研修に出席した職員を講師に施設内で勉強会を開催したり、ミーティングで話し合ったりして、職員の虐待に関する認識を深め虐待防止に努めています。 ・職員間でも気が付いたことを指摘し合うようにしています。		

事業所名：グループホーム回生荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約に際しては、契約書・重要事項説明書等による説明は勿論、本人及びご家族の皆さんに実際に施設を見学していただく等十分納得して入所していただくようにしています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・利用者の言動などを観察して、不満などを察知して声をかけるようにしています。 ・利用者やご家族の方のご意見や不満などを気軽に表出できるように、ご意見箱の設置をしています。	○	・家族会を開き、ご家族の悩み思いなどを聴いて、支援につなげています。 ・家族会で認知症の勉強会を開催して、職員が講師として認知症に対する理解を深めていただき、ご家族と職員で協力してケアできるようにしています。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・金銭管理や職員の異動等については、必要に応じてその都度行っています。暮らし振り、健康状態については常に報告連絡をしています。	○	・健康状態については、かかりつけの医師に報告・相談して、結果をご家族にその都度報告しています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ご家族の面会時や家族会などでサービスの内容についてのご意見を求めるなど、ご家族のご意見や不満などを汲み上げるようにしています。 ・苦情・相談窓口として、第三者評価委員会や行政等の窓口の連絡先を掲示しています。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎月、法人全体の運営会議やグループホーム職員によるミーティング等職員の意見を聞く機会を設けて、意見を聞き反映させています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・前月にシフトを決める際に、翌月の行事や通院等を考慮し、また、職員の希望も聞いてシフトを決定する。その後の状況の変化により変更する際も【勤務(変更・交替)申請書】の様式作成してあり、勤務の調整もし易くしています。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・職員の退職ややむをえない場合以外は、極力異動は行わず固定した職員によるサービスの提供に心がけています。		

事業所名：グループホーム回生荘

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○	・外部研修に参加しやすいようにシフトなども考慮しています。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている		・外部研修の際に他施設の職員と積極的に意見交換をするなどの交流をしています。 ・市内にグループホームが一カ所なので、相互訪問等のネットワークはこれからの課題です。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる		・職員のストレスを軽減するため、常時コミュニケーションを取るようになっています。 ・食事会やお風呂などに職員間で出かけています。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている		・課業について一覧表を作成して、それぞれの業務を把握するとともに、各自がどの位置にいるかを確認して、それぞれ目標をもって働くようになっています。それを人事考課で給与等に反映しています。(正職員)
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		・本人の困っていること・不安なこと、求めていることなど本人から聴いたり、言動を洞察して受け止めて、穏やかに生活できるように支援しています。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		・ご家族として利用に際しての不安や要望等を丁寧に聴くと共に、利用した場合のことなども説明して不安の解消を図っています。

事業所名：グループホーム回生荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・相談時に、本人やご家族が本当に必要なサービスを見極め、他のサービスも含め適切なサービスの検討もして支援しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・本人やご家族と一緒に施設の見学をしていただき施設の雰囲気馴染んでいただく他、入所に際しては使い慣れた家具や気に入った調度品等を居室に配置するなどして違和感をなるべく少なくするようにしています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の生活歴や趣味などを日頃の会話の中で聞き取り、興味のあることについて話したりして、共有できる部分を増やして、共に生活を送る雰囲気を作っていくようにしています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・年間の行事計画を年度当初にご家族に配布して、ご家族の皆さんが行事に参加しやすくすると共に、四季折々の行事をご家族と一緒に作り上げるようにしています。また、面会時には日々の生活振りをお話して、本人の状況を共有するようにしています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・なるべくご家族に施設に足を向けていただくように、行事に定期的に参加出来るように、年度の行事計画の配布をして、更に行事のご案内を送付しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・居室に今まで使用していた家具などを配置し、出来るだけ馴染みの場所との関係が途切れないようにしています。	○	ご家族は勿論、馴染みの人の面会を一層促していく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・普段の行動などを観察し、利用者同士の関係を把握して孤立しないように位置などを考慮して、皆で一緒にできることを取り入れています。		

事業所名：グループホーム回生荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・サービスの利用が終了しても、本人に面会したりご家族に施設での状況をお伝えしたり、電話で様子を伺うなどしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・アセスメントする際や普段の様子から、本人の言動や非言語的表現(表情等)を通して、したい事、不快に思う事等を情報収集している。本人の訴え(帰りたい、食べていない等)への対応はしているが、満足感を得られていない場合がある。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・どのような仕事をしてきたか、どこで暮らしていたか等主なことは把握しているが、細かな生活習慣や好み等までは把握しきれていない部分もある。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・何が出来て何が困難であるか本人と一緒にしながら、探し確認している。 ・出来るのにしようとする方へは無理強いせず、他の出来る事を探していただくようにしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・本人を含め担当者会議を開き、ご家族の日頃のご意見等を取り入れ介護計画を作成しています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・ケアカンファにご本人・ご家族に参加していただき、現在の状況を詳細に説明して現状に即した計画を作成しています。		

事業所名：グループホーム回生荘

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・1日の様子を時間帯で区切り、1日1枚の記録の書式としています。主に実践した事項を記入しています。気づきやケアの工夫については、連絡ノートに記載して情報の共有をしています。	
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・本人やご家族の状況や要望に応じて、総合福祉施設としての施設内の異動等を含め柔軟なサービスの提供をしています。	
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・地域の民生委員の方に評議員や運営推進委員として、ご意見やご指導をいただいています。近隣の保育園との交流をしています。 ・地元消防団にも防災訓練に参加を要請しました。	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合いや他のサービスを利用するための支援はしていません。	
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・現在は、地域包括支援センターとの協働はありません。	
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・本人及びご家族の希望を大切に、基本的にかかりつけ医に通院したり、往診など適切な医療を受けられるように支援しています。	

事業所名：グループホーム回生荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・特養で精神科医との業務委託をしているので、必要に応じて相談したり、診断や治療を受けられるように支援しています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・特養の看護職並びに雇われ医の看護師等とも気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・日頃、病院関係者との連携に努めており、入院した時は利用者が安心して過ごせるよう、また、早期に退院できるように情報交換や相談できるようにしています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・往診医の活用及び雇われ医により早めに状況等を把握して、本人やご家族と話し合い全員で情報の共有に努めています。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・往診医の活用及び雇われ医により早めに状況等を把握して、利用者が日々をより良く暮らせる為に、事業所で「出来ること。出来ないこと。」を職員間で協議して見極め、今後の変化に備えて検討や準備を行っています。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・住み替え時にご家族や本人には、今までの経緯や現在の状況等は説明していますが、ケア関係者間での十分な情報交換や、住み替えによるダメージを防ぐよう移り住む際は、本人の情報交換を行なっています。		



事業所名：グループホーム回生荘

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・一人一人の誇りやプライバシーを損ねるような声かけや対応、記録の個人情報の取扱いはしていません。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・利用者の希望の表出や自己決定の支援については、不十分です。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・日々のその人らしい暮らしについては、尊厳を守るためにも重要なことであるので、利用者になじみの生活とまではいかないまでも、一人一人の生活の希望やリズムに出来るだけ対応しています。	
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように支援はしていますが、理美容は、施設で依頼する業者にいただいています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事については、準備や片付けについては出来る利用者と一緒にしています。また、メニューを決める時に、可能な限り利用者の好みを取り入れようとしています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・飲み物、おやつ等はある程度、本人の希望を取り入れて楽しめるようにはしていますが、お酒、タバコについては、一切取り組んでいません。	

事業所名：グループホーム回生荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように支援している	・排泄のパターンを把握すると共に一人一人の力に応じて、おむつの使用を減らしトイレ誘導などをして、気持ちよく排泄できるように支援しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入浴の曜日は決まっていますが、利用者の希望(一番風呂、ゆっくり入るなど)を聴いて支援しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・安眠や休息は、一人一人の生活習慣やその時の状況に応じて取れるように支援しています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・今までの生活歴等や好みのものを生かし、出来ることはしていただき、役割意識や楽しみとなるようにしています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・本人がお金を使うことの大切さを理解している場合は、外食時やお買い物外出時において本人の希望や力に応じて、お金を所持した、使えるようにしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・ご家族の方と相談して、希望にそって戸外に出かけられるようにしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・ドライブ、外食、ご家族と一緒にのぶどう狩りなどを実施して、大変喜んでいただいています。		

事業所名：グループホーム回生荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・本人の希望に応じて、電話や手紙のやり取りが出来るように支援をしています。ご家族お友達に年賀状や暑中見舞いなどの支援をしています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・行事やレクリエーションの案内を出すなど気軽に訪問できるようにしています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束については、「禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・居室やテラスについては、日中鍵をかけずにケアをしていますが、玄関については交通事故等も考慮し、現在は自由な出入りは出来ません		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・居室のドアは閉めておくなどプライバシーに配慮して、共用部分はカメラにより、また、巡回時に居室を確認するなど、利用者の所在や様子を把握し安全に配慮して居ます。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・居室については、一人一人の状態に応じて危険を防ぐ取り組みをして居るが、共用部分については注意の必要な物品については置かないようにしています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・毎日の申し送りや介護日誌の回覧等で、利用者一人一人の直近の状態や状況を把握し事故防止に取り組んでいます。		

事業所名：グループホーム回生荘

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っていません。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・地域の消防団にグループホームの説明をして、災害時の避難等に協力をお願いをしています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・リスクについて気付いた点は、家族に連絡説明をしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・体調の変化については、発見次第記録に残すとともに申し送りで報告し情報を共有して、必要に応じて医師やご家族に連絡しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬については、使用している薬の目的、副作用、用法、用量等を理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認をしています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かすレクリエーションを取り入れ取り組んでいる。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後一人一人の口腔状態や力に応じた支援をしている。		

事業所名：グループホーム回生荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・栄養摂取や水分確保のため、摂取量を確認して、状態や力に応じて支援をしている。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・特養と合同で感染予防委員会を開催して、必要に応じて感染症予防の態勢を取り実施している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・食中毒予防のために、台所・調理器具等の衛生管理を行い、食材については新鮮物をなるべく必要なだけ購入するようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・利用者やご家族、近隣の皆さんが、訪問し易いように工夫した看板を数箇所設置している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・共用の空間は、節句には雛飾りや鯉幟を飾ったり、四季折々の飾り付けをするなど、生活感や季節感を取り入れて居心地よく過ごしていただくとともに、季節感を味わっていただいています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・共用空間には、それぞれ好みの空間を味わい楽しんでいただくように、畳、ソファ、長いす等を配置するなど工夫をしています。		

事業所名：グループホーム回生荘

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・居室には、入所時に本人やご家族の希望を受け入れるべく使い慣れた馴染みのものや好みのものを配置して、本人が違和感なく生活できるようにしています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・換気については、換気栓は勿論、光触媒の空気清浄機を設置してにおいや空気のだよみがないようにしています。空調については、むやみにエアコンを使用するのではなく、自然の風を出来るだけ取り入れ、急激な温度変化などがなく体の負担を少なくするようにしています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・建物内部は、バリアフリーは勿論、手すりを多くつけたり、一寸腰を掛けるようソファを配置するなど、一人一人の身体機能を生かして、安全かつ出来るだけ自立した生活が送れるように工夫しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・居室に大きな手彫りの表札を取り付けたり、一人一人の力に応じて失敗や混乱を防ぐ工夫をして自立した生活出来るようにしています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・建物の外周には緑や花を配置すると共に、散歩コースに長椅子を設置して休憩できるようにしてあります。		

事業所名：グループホーム回生荘

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)